

公益社団法人 日本地下水学会
2017年度 第8回 理事会議事録

1. 開催日時：2018年2月17日（土） 13:30～18:30
2. 開催場所：日本工営(株) 九段オフィス 中庭棟4階 第1中会議室
〒102-0073 千代田区九段北1-14-1 九段坂上KSビル
3. 理事総数：15人

4. 出席理事数：14人 ○：出席、×：欠席

理事	伊藤 浩子	○	理事	蛭原 雅之	○
理事	小野寺 真一	○	理事	川端 淳一	○
理事	坂本 大	○	理事	白石 知成	○
理事	鈴木 弘明	○	理事	瀬尾 昭治	○
理事	竹内 真司	○	理事	谷口 真人	○
理事	徳永 朋祥	×	理事	中川 啓	○
理事	中島 誠	○	理事	古川 正修	○
理事	町田 功	○			

5. 出席監事数：2人 ○：出席、×：欠席

監事	平山 光信	○	監事	深田 園子	○
----	-------	---	----	-------	---

6. 議長の氏名：理事 谷口 真人

代表理事 谷口 真人は議長席につき、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分本理事会の開会を宣した。

7. 代表理事の活動状況：

2018年1月10日に第16回水循環基本法フォローアップ委員会および第10回地下水分科会が開催され、委員として出席したことの報告があった。

2018年1月27日に第6回トークセッション「地下水・エネルギー・食料のネクサス ～地下水を中心としたエネルギーと食料問題への新しいアプローチ～」(主催NPO法人地中熱&地下水資源活用NET)におけるテーマ講演「地下水・エネルギー・食料のネクサス」を行ったことの報告があった。参加者は50名程度であった。

会誌60巻1号の巻頭言を執筆したことの報告があった。

8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

9. 議事録作成者：理事 中島 誠

10. 理事会資料

- 資料 1-1 : 2017年度 第7回理事会 議事次第
- 資料 1-2 : 第6回トークセッション「地下水・エネルギー・食料のネクサス ―地下水を中心に
したエネルギーと食料問題への新しいアプローチ」開催案内
- 資料 2 (1種) : 2017年度 第6回理事会議事録 (案)
- 資料 3 (2種) : 企画委員会資料
- 資料 4 (1種) : 行事委員会資料
- 資料 5 (3種) : 渉外委員会資料
- 資料 6 (1種) : 編集委員会資料
- 資料 7 (2種) : 調査・研究委員会資料
- 資料 8 (1種) : 市民コミュニケーション委員会資料
- 資料 9 (3種) : 広報・IT委員会
- 資料10 (1種) : 若手支援・男女共同参画委員会資料
- 資料11 (1種) : 技術者継続教育委員会資料
- 資料12 (2種) : 会計委員会資料
- 資料13 (2種) : 表彰委員会資料
- 資料14 (6種) : 総務委員会資料
- 資料15 (2種) : 自治体関係
- 特別資料 (1種) : 受託業務の取り扱いについての提言 [平山、深田]

【審議事項】

第1号議案：(資料2)

- ・ 2017年度 第7回理事会議事録 (案) の内容が確認され、承認された。

第2号議案：(若手支援・男女共同参画 (YEPS)) : 資料10)

- ・ 「2018年度 若手地下水研究助成」について、スケジュール、審査員、について、承認された。応募締切を3月23日 (金)、一次審査を4月18日 (水) まで、結果の通知を4月23日 (月) 着で、二次審査 (ヒアリング) を5月19日 (土) 午前に春季講演会時に行うこととする。審査書類 (案) については、審査報告書において一部表現を工夫することとし、それ以外の部分について承認された。

第3号議案：(若手支援・男女共同参画 (YEPS)) : 資料10)

- ・ 2018年度若手セミナー「海外留学や就職を目指す若手研究者のために ―カナダでの体験談」(講師：林 正貴教授 (カルガリー大学)) の開催および会告 (案) を承認した。同日開催されるセミナー「山岳地域の水文地質学 ―世界の水源を供給する地下水の重要な役割―」の前に開催する。

第4号議案：(若手支援・男女共同参画 (YEPS)) : 資料10)

- ・ 2018年春季講演会の会期中における子供の一時保育助成事業について、内容が承認された。「ママズスマイル大宮東口店」(大宮駅前) に問い合わせ済みであり、保育施設との連絡は基本的にYEPS委員会で対応、学会からは保育料の半額 (最大5000円/人) を補助することとし、春季講演会の参加募集会告への追記、メール配信等により本件を広く周知する。

第5号議案：（技術者継続教育：資料11）

- ・ 3月8日に開催される「土質・地質技術者生涯学習協議会」にて年会費の増額（管理費の増額に伴う平成29年度60,000円（年会費の1/2）から平成30年度80,000円（年会費の2/3）への変更）について、本学会として受け入れることを承認した。

第6号議案：（会計：資料12）

- ・ 2018年度予算案について、各委員会への第二次予算案の提示・意見聴取、再調整の状況および最終予算案の内容を確認し、最終予算案を承認した。

第7号議案：（表彰：資料13）

- ・ 表彰委員会規則について、表彰委員会規定と名称を変更することとし、改定内容を承認した。
- ・ 表彰附則について、改定内容を審議し、以下の修正を行うことを条件に承認した。
 - ・ 論文賞は、賞状を著者全員、メダルを筆頭著者に渡すこととする。
 - ・ 研究奨励賞は、賞状、メダル両方を筆頭著者に渡す。
 - ・ 技術賞に渡すメダルは1枚とする。
 - ・ 楯、記念品を表から削除する。

第8号議案：（総務：資料14）

- ・ 2018年度事業計画について、事業計画（案）の内容を審議し、以下の修正を行うことを条件に事業計画として確定することを承認した。
 - ・ 出版事業の分類を「公2」とすべきか、公共事業に分類されるかを確認し、正しい分類にする。
 - ・ 「公2」、2.①のセミナー名称を最終確定したものに修正する。
 - ・ 「共通」、2.に、⑥として自治体との意見交換会について追加する。

第9号議案：（総務：資料14）

- ・ 2018年度代議員会および理事会日程について審議し、承認した。
 - ・ 代議員会は5月12日（土）15：00～17：00に開催する。
 - ・ 理事会の開催日は、4月21日（土）、5月12日（土）、6月23日（土）、8月25日（土）、10月20日（土）、12月8日（土）、2019年2月23日とすることを決定した。5月12日の理事会は代議員総会の前に実施する。

第10号議案：（総務：資料14）

- ・ 出張旅費規程について、改定案の内容を審議し、改定案から附則を削除したものを承認した。
- ・ 謝金等支給規定について、改定案を承認した。

第11号議案：（総務：資料14）

- ・ 2018年度の入退会員について、承認された。

第12号議案：（自治体対応：資料15）

- ・ 安曇野市からの研究者照会への対応について、メーリングリスト等で安曇野市をフィールドとする研究への協力者を募集し、研究体制等に関する協議は市と応募者の間で行う方向で安曇野市に回答することとした。

【報告事項等】

1. 企画委員会（資料3）

企画委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 2018年5月18日の開催を予定しているセミナー「山岳地域の水文地質学 ―世界の水源を供給する地下水の重要な役割―」の計画・準備状況および会告案が報告された。今後、共催・後援先への交渉を開始する。

2. 行事委員会（資料4）

行事委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 2018年春季大会の日程等が再確認のため、報告された。開催場所は埼玉大学総合研究棟（懇親会は構内第二生協食堂）、開催日は5月19日（土）、実行委員長は斎藤健志氏（埼玉大学）、発表申込締切は3月20日、原稿締切は4月16日としている。
- ・ 2018年秋季講演会の日程等が報告された。開催場所は松山市子規記念博物館（懇親会はホテルメルパルク松山）、開催日は10月25日（木）～27日（土）、実行委員長は井内國光氏（愛媛大学）で6名からなる実行委員会を組織、見学会は「西条うちぬき」、「西条市酒蔵」等を予定していることが報告された。
- ・ 2018年秋季講演会について、西城高校での取り組みを題材にシンポジウムを企画検討したが、同高校教諭との打合せの結果、ポスターセッションでの高校生による発表に変更し、現時点ではシンポジウム企画を別途検討中であることが報告された。
- ・ 第24回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会の開催計画が報告された。開催場所は福島市（とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター））、開催日は10月30日（火）～11月1日（木）、懇親会は10月30日（火）にザ・セレクトン福島で開催、現地見学会を11月1日（木）に開催（中間貯蔵施設等を予定）、発表申込期間は3月9日～5月18日、参加申込期間は5月18日～9月21日、懇親会参加申込期間は3月9日～9月21日としており、現地見学会申込期間は7月下旬～9月中旬を予定していることが報告された。今回は日本水環境学会がメインの主催者である。

3. 渉外委員会（資料5）

渉外委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 2018年度日本地球惑星科学連合（JpGU）フェローの候補者募集（2017年12月31日締切）について推薦がなかったことが報告された。
- ・ JpGUの平成29年第2回HRL誌運営委員会の審議結果が報告された。
- ・ JpGU夢ロードマップの作成・提出について報告された。

4. 編集委員会（資料6）

編集委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 第60巻1号（2月号）の印刷状況が報告された（2月末発行）。
- ・ 第60巻2号（5月号）の編集状況が報告された。学会活動報告等の入稿締切は4月20日頃となる予定である。
- ・ 次回（3月）の編集委員会での審議計画が報告された。EM確立・高度化に向けてのマニュアルや管理体制、若手ページWG、新規企画、地下水関連研究動向のページについての審議を予定している。

5. 調査・研究委員会（資料7）

調査・研究委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 地下水ガバナンス等に関する調査・研究グループの活動状況が報告された。2月18日（日）にキックオフ会議が開催される。
- ・ 熊本地震対応調査・研究グループの活動状況が報告された。JpGU 2018のユニオンセッションU-8「連合は環境・災害にどう向き合っていくのか？」での本学会からの発表について、嶋田氏（熊本大学）に対応いただくこととなった（タイトル：2016年熊本地震が地域の地下水資源に与えた影響評価に対する日本地下水学会の取り組み）。JpGU 2018の水文・陸水・地下水学・水環境（HW）のセッションA-HW24[JJ]「熊本地震に伴う地表水と地下水の変化」が投稿受付中である（締切は2月19日）。IAH 2018 Special session 提案「Effect of 2016 Kumamoto Earthquake (M7.3) to the local groundwater system」（案）を検討中である（申請時に6名の発表予定者とタイトルのリストを送付する必要あり）。
- ・ 降雨浸透過程モデリングに関する研究委員会について、2月項に会告掲載、3月15日まで委員募集を行うことが報告された。
- ・ 地域地下水データベース（DB）について、作業状況が報告された。追加分について作業を順次行う予定である。水文・水資源学会誌について過去10年間の地下水関係の論文の抽出を完了し、追加分と合わせて整理・アップロード作業を予定しており、次年度初旬くらいのアップロードを予定している。
- ・ 産業技術総合研究所からの受託事業「平成29年度高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する技術開発事業」沿岸部処分システム高度開発の第2回、第3回委員会（2月12日、13日）を実施したことが報告された。
- ・ 産業技術総合研究所からの今年度（平成29年度）発注業務の受託に係る見積願、提案内容の確認の件について、メールによる理事会での書面審議の結果が報告された。理事12名から承諾の回答があり、幾つかのコメントがあった。

6. 市民コミュニケーション委員会（資料8）

市民コミュニケーション委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ Q&A対応の迅速化対応について、順調であることが報告された。
- ・ 絵本出版の対応について、3月または4月にバイインターナショナルと打合せを行うことが報告された。
- ・ 地球環境基金への申請（60万円を本（プロトタイプ）の出版費用とする）について、3月に可否が判明する予定であることが報告された。

7. 広報・IT委員会（資料9）

広報・IT委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 学会 HP の「新着情報」の更新（随時）、2017 年度第 6 回議事録の掲載、「2018 年春季講演会」申込みフォームの作成を行ったことが報告された。
- ・ 学会 Facebook ページの試験運用について、広報・IT 委員会内で行っていた試験運用の範囲を理事会まで拡大することが報告された。参加を希望する理事・幹事は各自の Facebook アドレスを鈴木理事まで連絡することにより、Facebook 管理者より招待するかたちとする。
- ・ 学会 HP へのアクセス状況が報告された。7,000 件/月程度のアクセスがある。

8. 若手支援・男女共同参画委員会（YEPS）

なし

9. 技術者継続教育委員会（資料 11）

技術者継続教育委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ ジオスケーリングネット掲載行事の状況について報告された。前回理事会以降の更新なし。

10. 会計委員会（資料 12）

会計委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 2017 年度決算報告について、各委員会は、各委員会の決算を収入・支出の完了した時点でできるだけ早く（遅くとも 3 月 30 日までに）報告することとする。
- ・ 2017 年度決算の監査を 4 月 13 日（金）（その後、4 月 10 日（火）に変更）に行い、次回理事会（決算書類および事業報告等の承認）を 4 月 21 日（土）に、代議員総会を 5 月 12 日（土）に実施する。
- ・ 会員数・会費納入状況・収入・支出（12 月 4 日現在）の状況が報告された。

12. 総務委員会（資料 14）

総務委員長より下記の報告がなされた。

- ・ 後援、共催等について。後援を 1 件、協賛を 2 件実施したことが報告された。
- ・ 名誉会員候補者名が報告された。
- ・ 次回理事会の審議事項として 2017 年度事業報告の承認があることが報告された。

13. 自治体対応関係（資料 15）

蛭原理事より、以下の報告がなされた。

- ・ 安曇野市との意見交換会の発言概要の会誌掲載について、当日の発言内容に加筆修正すべき点がないか確認し、後日メールで蛭原理事まで連絡するよう依頼があった。
- ・ 自治体との意見交換会の発言概要を「資料」として会誌へ掲載するに当たり、今後もシリーズとして年 2 回のペースで掲載することを念頭に、構成・内容等に関する意見を蛭原理事まで送るよう依頼があった。

14. 受託業務の取り扱いについて（特別資料）

- ・ 平山監事・深田監事より「受託業務の取り扱いについての提言」の内容が説明された。提言を受けて審議した結果、本学会としての委託業務の方向性として、①随意契約の理由が明確な業務は受注可とする、②小額随意契約業務（100万円以下）は原則として受注可とするが出来るだけ上記の随意契約理由等が付記されるよう発注者側に求める、③本学会としての公益性を担保する説明が明確でない競争入札業務については原則として参加しないということを決定した。受託業務の受託の可否については、調査・研究委員会が検討し理由を文書に示したかたちで判断し、理事会で承認をとるというかたちとし、総務委員会が現在の受託の規定の見直し内容を検討することとする。

以上をもって議事が終了したので、議長は18時30分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名、押印する。

2018年3月20日

公益社団法人日本地下水学会 理事会